

令和 7 年 度

上下水道事業年報
(公共下水道事業)

R7.4.1 ~ R8.3.31

富山市上下水道局

概 要

【総面積】 1, 2 4 1. 7 0 k m²

【人口及び世帯数】

単位：世帯、人

地域	世帯数	男	女	計
富 山 地 域	150,229	151,781	159,501	311,282
大沢野地域	9,291	10,237	10,530	20,767
大 山 地 域	3,688	4,030	4,344	8,374
八 尾 地 域	7,471	8,525	8,779	17,304
婦 中 地 域	16,811	19,880	20,458	40,338
山 田 地 域	482	564	587	1,151
細 入 地 域	484	507	541	1,048
合 計	188,456	195,524	204,740	400,264

令和8年3月末現在 住民基本台帳の数値

第3編 公共下水道事業

I 事業概要

1 令和7年度事業概要	39
2 業務統計	40

II 施設及び業務の概要

1 基本計画	41～43
2 汚水処理施設等の概要	44～45
3 管渠の概要	46～48
（富山市下水道計画図(汚水)）	49
4 汚水処理施設稼動状況	50
5 水洗便所改造資金貸付状況	51

III 料金制度

1 下水道使用料	52
2 下水道受益者負担金	53
3 収納状況	54

IV 財政統計

1 損益計算書	55
2 貸借対照表	56
3 費用構成表	57
4 使用料単価及び汚水処理原価	58
5 企業債の状況	59
6 経営分析	60～62

第4編 組織及び職制

1 上下水道局組織図	63
2 上下水道局事務分掌	64～66
3 上下水道局職員配置表	67

第5編 事業の推移

1 事業の推移（沿革）	68～75
-------------	-------

第3編 公共下水道事業

I 事業概要

1 令和7年度事業概要

ア 普及状況

本年度末における処理区域面積は9,933.08ha、処理区域内人口は375,077人で、前年度に比べ処理区域面積は3.28ha増加、処理区域内人口は1,513人減少し、普及率は93.71%になった。

イ 主要事業の成果

公共下水道事業については、生活環境の改善、公共用水域の水質保全、浸水の防除等を目的として、各種施策を着実に推進した。

(ア) 公共下水道（污水）の整備

- ① 下水道施設（管渠）の改築
 - ・ 老朽下水道管の調査18.3kmを行い、劣化が確認された下水道管の改築工事3.0kmを行った。
- ② 下水道施設（処理場）の改築
 - ・ 浜黒崎浄化センターにおいて、受変電設備等の改築を行った。
- ③ 下水道施設（管渠）の新設
 - ・ 公共下水道…中田一丁目、一本木等で0.3kmを整備した。
 - ・ 特定環境保全公共下水道…水橋石政で0.7kmを整備した。
 - ・ 流域関連公共下水道…八尾町福島、婦中町速星で0.1kmを整備した。
 - ・ 流域関連特定環境保全公共下水道…婦中町中名、婦中町十五丁等で0.2kmを整備した。

(イ) 公共下水道（雨水）の整備

- ① 雨水幹線の整備
 - ・ 本郷第5雨水幹線で0.2kmを整備した。
- ② 合流式下水道の改善
 - ・ 浸水被害軽減を目的とした下水道管の改築工事0.2kmを行った。

(ウ) 危機管理体制の強化

- ① 地震対策の強化
 - ・ 災害時にも下水道施設の機能を維持するため、下水道管の管口耐震化を19か所、マンホールの浮上防止を84か所、マンホールのずれ止めを64か所行った。

(エ) 水洗化率の向上

- ・ 下水道使用料の増収に向けて水洗化率の向上を図るため、「上下水道局下水道普及促進対策本部」を設置し、下水道未接続家庭等に接続を促す活動をしてきており、普及推進員による戸別訪問を実施した。
（水洗化率 令和6年度末 97.0%→令和7年度末 97.2%）

ウ 財政状況

本年度の収益的収支は、事業収益14,907,282,406円、事業費用14,420,479,617円で差し引き486,802,789円の当年度純利益が生じた。

資本的収支においては、資本的収入額5,645,462,141円、資本的支出額12,352,589,131円で、不足する額6,707,126,990円は、過年度分損益勘定留保資金2,423,613,315円、当年度分損益勘定留保資金4,040,464,583円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額243,049,092円で補填した。

2 業務統計

項 目		単位	令和7年度	令和6年度	令和5年度
行政区画面積		ha	124,170	124,170	124,170
行政区画内人口	注1 (A)	人	400,264	402,337	404,870
行政区画内世帯数	注1	世帯	188,456	186,949	185,491
全体計画面積	合流区域面積	ha	265	265	265
	分流区域面積	ha	11,157	11,128	11,128
	計	ha	11,422	11,393	11,393
全体計画区域人口	注2	人	369,690	377,210	377,210
污水認可面積	合流区域面積	ha	265	265	265
	分流区域面積	ha	10,812	10,809	10,809
	計	ha	11,077	11,074	11,074
污水整備済面積		ha	9,933.08	9,929.80	9,921.80
認可計画区域人口	注2	人	378,570	376,360	376,360
処理区域面積		ha	9,933.08	9,929.80	9,921.80
処理区域内人口	(B)	人	375,077	376,590	378,379
処理区域内戸数	(C)	戸	140,968	140,160	139,349
人口普及率	(B/A)	%	93.71	93.60	93.46
水洗化人口	(D)	人	364,468	365,461	366,662
接続済戸数	(E)	戸	136,960	136,010	135,049
接続率	(E/C)	%	97.16	97.04	96.91
水洗化率(人口ベース)	(D/B)	%	97.17	97.04	96.90
総処理水量		m³	55,883,147	58,014,628	56,220,874
うち污水	(F)	m³	51,000,697	51,758,993	51,995,504
うち雨水		m³	4,882,450	6,255,635	4,225,370
有収水量	(G)	m³	40,795,984	40,685,630	40,920,987
有収率	(G/F)	%	79.99	78.61	78.70
雨水認可面積	合流区域面積	ha	265	265	265
	分流区域面積	ha	8,779	8,779	8,779
	計	ha	9,044	9,044	9,044
雨水対策整備対象区域面積	(H)	ha	7,663	7,663	7,663
雨水整備済面積	(I) 注3	ha	6,116	6,104	6,093
雨水整備率	(I/H)	%	79.82	79.66	79.51
汚水処理人口普及率	公共下水道	人	375,077	376,590	378,379
	農業集落排水等	人	15,891	16,271	16,580
	合併浄化槽	人	6,310	6,346	6,622
	地域し尿	人	686	695	704
	計 (J)	人	397,964	399,902	402,285
	汚水処理人口普及率 (J/A)	%	99.43	99.39	99.36

注1 人口・世帯数については、令和8年3月31日現在の住民基本台帳の数値

注2 全体計画区域人口及び認可計画区域人口については、計画目標年次における計画人口の数値（全体計画目標年次：令和12年度、認可計画目標年次：令和9年度）

注3 雨水対策整備対象区域（公共下水道(雨水)の浸水対策を実施すべき区域）のうち、5年に1回程度の大雨に対応する下水道整備が完了した区域などの面積（浸水履歴の無い区域や既存水路の能力が確保されている区域を含む）

* 地域別普及率等

区 分	行政区画内人口	公共下水道				その他の汚水処理施設			全汚水処理施設	
		下水道処理人口	下水道処理人口普及率	水洗化人口	水洗化率	農業集落排水等人口	合併浄化槽人口	地域し尿人口	処理人口計	汚水処理人口普及率
富山地域	311,282	297,142	95.46%	290,599	97.80%	9,604	2,882	686	310,314	99.69%
大沢野地域	20,767	16,972	81.73%	16,590	97.75%	871	2,233	0	20,076	96.67%
大山地域	8,374	5,811	69.39%	5,641	97.07%	2,150	93	0	8,054	96.18%
八尾地域	17,304	15,075	87.12%	13,819	91.67%	1,575	426	0	17,076	98.68%
婦中地域	40,338	38,460	95.34%	36,265	94.29%	1,168	617	0	40,245	99.77%
山田地域	1,151	759	65.94%	750	98.81%	336	56	0	1,151	100.00%
細入地域	1,048	858	81.87%	804	93.71%	187	3	0	1,048	100.00%
計	400,264	375,077	93.71%	364,468	97.17%	15,891	6,310	686	397,964	99.43%

Ⅱ 施設及び業務の概要

1 基本計画

処理区名		浜黒崎処理区			水橋処理区			神通川左岸処理区(富山)		
都市計画決定 (最終年月日)		令和5年1月20日			令和5年1月20日			令和5年1月20日		
下水道事業認可 (最終年月日)		令和7年11月26日			令和7年11月26日			令和8年3月16日		
都市計画事業認可 (最終年月日)		令和8年3月30日			令和8年3月30日			令和8年3月30日		
		全体計画	都市計画 決定	下水道法 事業認可	全体計画	都市計画 決定	下水道法 事業認可	全体計画	都市計画 決定	下水道法 事業認可
事業施行期間 (年度)		R12	—	S27～R9	R12	—	H2～R9	R27	—	H5～R12
処理区域面積 (ha)		5,977	5,303	5,924	490.4	377	419.4	1,864.9	1,190.1	1,780.2
排水区域面積 (ha)		5,816	5,303	5,816	377	377	377	1,759.2	1,190.1	1,756.5
計画処理人口 (人)		210,190	190,790	214,360	12,810	10,990	12,030	47,840	40,700	49,920
家庭汚水量原単位 (ℓ/人・日平均)		350(310)	—	350(310)	350(310)	—	350(310)	340(290)	—	340(290)
計画工場排水量 (m³/日平均)		14,762	14,500	14,047	3,389	3,400	3,223	1,959	1,300	1,959
計 画 汚 水 量	(m³/日平均)	127,420	—	129,021	9,493	—	9,025	23,650	—	24,659
	(m³/日最大)	164,008	152,100	166,359	11,507	10,500	10,934	29,295	25,300	30,554
	(m³/日時間最大)	晴天時：241,145 雨天時：395,145	—	晴天時：244,076 雨天時：398,076	18,330	—	17,425	45,129	—	46,888
処理施設	名 称	浜黒崎浄化センター			水橋浄化センター			—		
	位 置	富山市浜黒崎及び古志町五丁目地内			富山市水橋辻ヶ堂			—		
	面 積 (m²)	98,400	98,360	98,400	38,100	38,100	38,100	—		
	排除方式	分流(一部合流)			分流			分流		
	処理方式	標準活性汚泥法			標準活性汚泥法			—		
	処理能力 (m³/日最大)	164,100	204,000	166,400	11,600	13,000	11,000	—		
	流入予定水質 (BOD)	180	—	180	230	—	220	—		
	流入予定水質 (SS)	140	—	140	170	—	170	—		
	運転開始 年月日	昭和54年4月			平成6年12月			—		
放 流	放流先	富山湾(岩瀬浜海岸)			辻ヶ堂排水路			—		
	環境基準	A-Ⅰ			—			—		
	放流水質 (BOD)	14(計画放流水質)	—	14(計画放流水質)	14(設計放流水質)	—	14(設計放流水質)	—		
	放流水質 (SS)	14(設計放流水質)	—	14(設計放流水質)	19(設計放流水質)	—	19(設計放流水質)	—		
雨水計画	確率年	5(一部10)	5(一部10)	5(一部10)	5	5	5	5	5	5
	降雨強度	49(一部58)	49(一部58)	49,51(一部58)	49	49	49	49	49	49
事業費 (百万円)	総事業費	294,168	277,976	284,896	28,046	25,464	24,525	91,516	67,334	91,516
	うち管渠・ ポンプ場	223,786	221,267	235,732	12,356	12,575	13,042	83,536	61,258	83,536
	うち処理場	60,382	56,709	49,164	15,690	12,889	11,483	7,980 (負担金)	6,076 (負担金)	7,980 (負担金)
備 考		認可面積のうち 合流区域面積は 265ha ()は非市街地						()は非市街地		

処理区名		大沢野処理区			大山処理区			小見処理区			神通川左岸処理区(八尾)		
都市計画決定 (最終年月日)		平成28年11月30日			平成28年11月30日			－			平成28年11月30日		
下水道事業認可 (最終年月日)		令和5年2月27日			令和5年2月27日			令和5年2月27日			令和8年3月16日		
都市計画事業認可 (最終年月日)		令和8年3月30日			令和8年3月30日			－			令和8年3月30日		
		全体計画	都市計画 決定	下水道法 事業認可	全体計画	都市計画 決定	下水道法 事業認可	全体計画	都市計画 決定	下水道法 事業認可	全体計画	都市計画 決定	下水道法 事業認可
事業施行期間 (年度)		R12	－	S61～R9	R12	－	S54～R9	R12	－	H6～R9	R27	－	H5～R12
処理区域面積 (ha)		693.6	496	630.6	370.4	235.2	370.4	85	－	85	634.19	349	580.6
排水区域面積 (ha)		548.6	496	548.6	356.1	235.2	356.1	－	－	－	521.8	349	75.35
計画処理人口 (人)		18,940	14,606	18,090	13,140	7,280	13,170	10,530	－	10,530	10,380	8,910	10,600
家庭汚水量原単位 (ℓ/人・日平均)		308	－	308	290	－	290	240	－	240	340(290)	－	340(290)
計画工場排水量 (m³/日平均)		500	286	428	－	－	－	－	－	－	546	152	546
計 画 汚 水 量	(m³/日平均)	7,170	－	6,798	4,931	－	4,943	1,799	－	1,799	4,730	－	4,819
	(m³/日最大)	9,656	7,429	9,173	6,223	3,638	6,239	2,287	－	2,287	5,773	5,408	5,887
	(m³/日時間最大)	14,408	－	13,665	9,149	－	9,170	4,095	－	4,095	9,117	－	9,276
処理施設	名 称	大沢野浄化センター			大山下水処理場			小見浄化センター			－		
	位 置	富山市新村			富山市東福沢			富山市小見			－		
	面 積 (m²)	22,663	24,510	22,663	29,200	29,220	29,200	4,600	－	4,600	－		
	排除方式	分流			分流			分流			分流		
	処理方式	回分式活性汚泥法			標準活性汚泥法			好気性ろ床法			－		
	処理能力 (m³/日最大)	9,700	10,900	9,200	6,300	8,800	6,300	2,290	－	2,290	－		
	流入予定水質 (BOD)	190	－	200	200	－	200	220	－	220	－		
	流入予定水質 (SS)	150	－	150	150	－	150	170	－	170	－		
	運転開始 年月日	平成4年4月			昭和62年4月			平成11年11月			－		
放 流	放流先	大久保川			熊野川			農業用水路(中地山地内)			－		
	環境基準	A-Ⅰ			A-Ⅰ			AA-Ⅰ			－		
	放流水質 (BOD)	15	－	15(計画放流水質)	15	－	15(計画放流水質)	15(計画放流水質)	－	15(計画放流水質)	－		
	放流水質 (SS)	20	－	20	25	－	25	30	－	30	－		
雨水計画	確率年	7	7	7	7	7	7	－	－	－	7		
	降雨強度	52.7	52.7	52.7	52.7	52.7	52.7	－	－	－	51		
事業費 (百万円)	総事業費	17,051	14,632	18,194	7,759	6,150	8,874	4,387	－	4,723	22,655	7,150	22,655
	うち管渠・ ポンプ場	12,252	9,833	12,860	3,494	2,284	3,820	1,887	－	1,917	22,655	7,150	22,655
	うち処理場	4,799	4,799	5,334	4,265	3,866	5,053	2,500	－	2,806	－	－	－
備 考											()は非市街地		

処理区名		神通川左岸処理区(婦中)			山田処理区			楡原処理区			南部処理区		
都市計画決定 (最終年月日)		令和5年1月20日			—			—			—		
下水道事業認可 (最終年月日)		令和8年3月16日			令和5年2月27日			令和5年2月27日			令和5年2月27日		
都市計画事業認可 (最終年月日)		令和8年3月30日			—			—			—		
		全体計画	都市計画 決定	下水道法 事業認可	全体計画	都市計画 決定	下水道法 事業認可	全体計画	都市計画 決定	下水道法 事業認可	全体計画	都市計画 決定	下水道法 事業認可
事業施行期間 (年度)		R27	—	H5～R12	R12	—	S60～R9	R12	—	H10～R9	R12	—	H13～R9
処理区域面積 (ha)		1,189.6	305.9	1,169.6	71	—	71	28.5	—	28.5	17.5	—	17.5
排水区域面積 (ha)		859.74	305.90	114.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計画処理人口 (人)		38,260	11,089	42,200	6,450	—	6,480	740	—	770	410	—	420
家庭汚水量原単位 (ℓ/人・日平均)		340(290)	—	340(290)	330	—	330	265	—	265	330	—	330
計画工場排水量 (m³/日平均)		3,064	600	3,064	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計 画 汚水量	(m³/日平均)	18,529	—	20,087	971	—	984	253	—	263	175	—	178
	(m³/日最大)	22,401	6,800	24,349	1,195	—	1,211	337	—	352	232	—	236
	(m³/日時間最大)	36,886	—	39,663	2,218	—	2,248	619	—	644	422	—	432
処理施設	名 称	—			山田浄化センター			楡原浄化センター			南部地区浄化センター		
	位 置	—			富山市山田小島前田			富山市楡原			富山市猪谷		
	面 積 (m²)	—			4,680	—	4,680	5,080	—	5,080	2,000	—	2,000
	排除方式	分流			分流			分流			分流		
	処理方式	—			オキシデーションディッチ法			オキシデーションディッチ法			オキシデーションディッチ法		
	処理能力 (m³/日最大)	—			1,200	—	1,220	340	—	360	240	—	240
	流入予定水質 (BOD)	—			210	—	210	190	—	190	160	—	160
	流入予定水質 (SS)	—			180	—	170	150	—	150	120	—	130
	運転開始 年月日	—			平成2年3月			平成16年3月			平成18年3月		
放 流	放流先	—			山田川			神通川			神通川		
	環境基準	—			A-Ⅰ			A-Ⅰ			A-Ⅰ		
	放流水質 (BOD)	—			15	—	15	15	—	15	15	—	15
	放流水質 (SS)	—			25	—	25	15	—	15	15	—	15
雨水計画	確率年	7			—			—			—		
	降雨強度	58.3			—			—			—		
事業費 (百万円)	総事業費	30,478	11,070	30,478	3,190	—	2,927	1,692	—	1,780	1,113	—	1,108
	うち管渠・ ポンプ場	30,478	11,070	30,478	1,529	—	1,529	907	—	950	635	—	635
	うち処理場	—	—	—	1,661	—	1,398	785	—	830	478	—	473
備 考		()は非市街地											

2 汚水処理施設等の概要

(1) 汚水処理施設

施設数8か所

処理場	所在地	供用開始 年月日	敷地面積 (㎡)	現況		処理方式
				処理区域面積 (ha)	処理能力 (㎡/日)	
浜黒崎 浄化センター	富山市浜黒崎及び 古志町五丁目	昭和54年4月	98,360	5,536	143,500	標準活性汚泥法
水橋 浄化センター	富山市水橋辻ヶ堂	平成6年12月	38,035	284	8,700	標準活性汚泥法
大沢野 浄化センター	富山市新村	平成4年4月	22,663	533	7,760	回分式活性汚泥法
大山 下水処理場	富山市東福沢	昭和62年4月	29,200	267	4,720	標準活性汚泥法
小見 浄化センター	富山市小見	平成11年11月	4,600	59	1,830	好気性ろ床法
山田 浄化センター	富山市山田小島前田	平成2年3月	4,680	71	1,200	オキシデーショ ン ディッチ法
楡原 浄化センター	富山市楡原	平成16年3月	5,080	29	340	オキシデーショ ン ディッチ法
南部地区 浄化センター	富山市猪谷	平成18年3月	2,000	17	240	オキシデーショ ン ディッチ法

(2) 汚水中継ポンプ施設

施設数4か所

施設名	最大排水量	ポンプ施設の規格・台数
岩 瀬	230㎡/分	φ700mm-5台
犬 島	11.0㎡/分	φ200mm-2台
大 泉	3.0㎡/分	φ150mm-2台
水 橋	6.3㎡/分	φ150mm-3台

(3) マンホール汚水中継ポンプ所 施設数373か所

富山地域	204
大沢野地域	18
大山地域	25
八尾地域	40
婦中地域	45
山田地域	19
細入地域	22

(参考) マンホール数 74,007か所

富山地域	53,977
大沢野地域	3,446
大山地域	1,929
八尾地域	5,426
婦中地域	7,888
山田地域	784
細入地域	557

(4) 雨水排水ポンプ施設 施設数7か所

施設名	最大排水量	ポンプ施設の規格・台数
七軒町	216m ³ /分	φ700mm-3台
神通町	126m ³ /分	φ500mm-2台、φ600mm-1台
牛島	66m ³ /分	φ400mm-3台
呉羽駅前	102m ³ /分	φ500mm-3台
速星雨水ポンプ場	684m ³ /分	φ1,350mm-3台
神明ポンプ・ゲート場	240m ³ /分	φ1,000mm-2台
古川排水ポンプ場	30m ³ /分	φ300mm-2台

(5) 雨水貯留施設 施設数12か所

施設名	貯留量	ポンプ施設の規格・台数	備考
仲井川第1貯留池	4,500m ³	排水用ポンプ φ200mm-2台	5.1m ³ /分
牛島雨水滞水池	5,600m ³	返送ポンプ φ200mm-3台	12.0m ³ /分
呉羽本町貯留池	1,200m ³	排水用ポンプ φ80mm-2台	1.7m ³ /分
星井町貯留池	1,300m ³	排水用ポンプ φ100mm-2台	1.8m ³ /分
牛島町貯留池	1,300m ³	排水用ポンプ φ100mm-2台	1.8m ³ /分
呉羽貯留池	11,900m ³	自然流下	—
大泉貯留管	1,400m ³	排水用ポンプ φ100mm-2台	1.8m ³ /分
新園町貯留池	1,300m ³	排水用ポンプ φ100mm-2台	1.8m ³ /分
松川貯留管	20,200m ³	排水用ポンプ φ250mm-4台	30.0m ³ /分
古志町貯留池	520m ³	排水用ポンプ φ80mm-2台	1.6m ³ /分
長江東町第一貯留池	1,200m ³	排水用ポンプ φ80mm-2台	1.7m ³ /分
長江東町第二貯留池	1,400m ³	排水用ポンプ φ100mm-2台	2.0m ³ /分

(6) 環境保全施設 施設数1か所

施設名	ポンプ施設の規格・台数	備考
有沢水緑景観施設	φ100mm-1台	水辺空間用

3 管渠の概要

(1) 管渠延長

<令和7年度末>

地 域	合流管 (m)	污水管		雨水管 (m)	合計 (m)
		公共 (m)	特環 (m)		
富 山 地 域	87,253	1,463,012	387,807	51,656	1,989,728
大 沢 野 地 域		123,875	4,892	6,593	135,360
大 山 地 域		50,599	13,274	3,166	67,039
八 尾 地 域		59,956	106,935	8,540	175,431
婦 中 地 域		73,228	212,751	4,693	290,672
山 田 地 域			21,208		21,208
細 入 地 域			13,828		13,828
計	87,253	1,770,670	760,695	74,648	2,693,266

(2) 主要な幹線管渠延長(φ600mm以上)

<令和7年度末>

幹線管渠名	延長(m)
八幡田稻荷幹線	9,098
黒崎岩瀬幹線	17,157
本郷不二越幹線	5,948
向新庄豊田幹線	4,787
日俣新屋幹線	3,503
水 橋 幹 線	1,450
大 沢 野 幹 線	3,590
大 山 幹 線	3,490
計	49,023

(3) 雨水幹線整備一覧表

富山地域

<令和7年度末>

番号	幹線名	断面 (m/m)	延長 (m)	施工年度	備考
1	岩瀬第1 雨水幹線	φ1,350~600	730.0	S36~S40	昭和54年認可より公共に移行
2	下新第4 雨水幹線	φ1,350~900	710.9	S42~S44	昭和54年認可より公共に移行
3	神通町雨水幹線	φ1,350~900	452.6	S44	合流式区域:(松川第1)
4	泉町二丁目第2雨水幹線	φ600	264.3	S46	
5	音羽町雨水幹線	φ800~600	745.3	S48~S52	
6	奥田雨水幹線	φ2,200~1,100	1,530.0	S48~S59	昭和59年認可より公共に移行
7	呉羽第1 雨水幹線	□5,600×2,900~φ2,400×1,440	2,606.3	S48~H13, H25	平成4年度認可より公共に移行
8	呉羽第2 雨水幹線	□2,200×1,540~1,000×900	0.0		7と同一排水区(新鍛冶川)
9	馬渡川雨水幹線	□5,080×1,700~3,400×1,400	1,810.4	S50~S61	平成4年度認可より公共に移行
10	新桜町雨水幹線	φ600	120.4	S51	合流式区域:3と同一排水区(松川第1)
11	いたち川雨水幹線	□3,500×1,350~1,800×1,300	699.6	S51~S58	平成2年度認可より公共に移行
12	天瀬川雨水幹線	□3,700×2,000~1,200×1,100	1,230.0	S52~S61,R6	平成2年度認可より公共に移行
13	草島川雨水幹線	□3,200×1,600~2,500×1,250	1,713.0	S53~S63	平成4年度認可より公共に移行
14	下新川雨水幹線	□1,500×1,200	112.0	S61	
15	赤田川雨水幹線	□5,700×1,700~□1,100×800	5,260.0	S61~H10	平成元年度認可より公共に移行
16	千歳雨水幹線	□2,000×700~1,100×1,100	575.0	S62~H 2	合流式区域:3,10と同一排水区(松川第1)
17	中市雨水幹線	φ2,200 □2,200×600	1,380.0	S63~H 2	
18	窪新町雨水幹線	□2,400×1,200~1,000×900	810.0	H 1~H 3	
19	田畑雨水幹線	□2,200×1,200~1,200×1,100	790.0	H 1~H 4	
20	四方川雨水幹線	□2,100×1,700~1,100×1,100	739.1	H 1~H 4	平成4年度認可より公共に移行
21	問屋町雨水幹線	□1,800×1,400	1,484.2	H 3	
22	ガメ川雨水幹線	□1,800×1,300~1,500×800		H 3~H 5	
23	中田川第1雨水幹線	□5,000×2,000~1,600×1,300	1,600.0	H 3~H 7	
24	辻ヶ堂雨水幹線	□2,100×1,500~1,200×1,200	785.0	H 4~H 5	
25	藤木第1 雨水幹線	□2,100×1,100~800×900	1,620.5	H 5~H11	平成7年度認可より公共に移行
26	呉羽駅前雨水幹線	φ900	811.8	H 6~H 9	26,27,28は同一排水区(呉羽駅前)
27	呉羽駅前第2雨水幹線	□1,000×1,000			
28	呉羽姫本雨水幹線	□1,300×1,000~1,000×900			
29	稲荷雨水幹線	φ1,650~1,500	165.1	H 6~H 8,H26	
30	呉羽小竹江雨水幹線	□3,300×1,500	3,755.5	H 3~H10	30,31,32は同一排水区(呉羽中央)
31	吉作第1 雨水幹線	□2,300×1,400			
32	呉羽本町雨水幹線	□1,100×1,350~1,100×1,100			
33	有沢第1 雨水幹線	□4,000×1,400~2,000×1,000	1,327.1	H 3~H 7	33,34は同一排水区(有沢)
34	有沢第2 雨水幹線	φ900~700			
35	諏訪川原第2雨水幹線	φ1,350~700	730.0	H 8~H 9	合流式区域:(松川第2)
36	仲井川第1雨水幹線	□3,400×2,700~700×700	1,784.8	H 8~H23	36,37は同一排水区(畑中)
37	仲井川第2雨水幹線	□2,800×1,500			
38	犬島第1 雨水幹線	□1,500×800~□700×500	556.8	H11	38,39,40は同一排水区(犬島第2)
39	犬島第2 雨水幹線	□800×700~600×600	202.3	H12	
40	犬島川雨水幹線	□800×800	176.3	H12	
41	下新第3 雨水幹線	□1,700×1,700~1,300×1,300	675.7	H11~H16	2と同一排水区(下新第2)
42	古川第2 雨水幹線	□3,000×1,400	43.5	H11	
43	柳川雨水幹線	□4,000×3,000~□3,400×1,200	717.6	H14~H22	
44	中田川雨水幹線	□1,400×1,100~□3,500×2,000	805.3	H14~H15,H25,H27~H28,H30	44,45は同一排水区(中田)
45	中田川第2 雨水幹線	□1,700×1,600	236.9	H15	
46	婆々越第1 雨水幹線	□700×1,000~□700×800	299.2	H15,H20	
47	村川雨水幹線	□2,300×1,500~1,700×1,400	974.2	H18~H21	
48	新川雨水幹線	□1,500×1,200~□2,500×1,300	473.6	H21,H30,R2,R3	
49	盤持川雨水幹線	□2,000×1,500~□2,000×1,900	428.9	H22~H24	
50	呉羽川西雨水幹線	□1,200×1,200	222.3	H22	7,8と同一排水区(新鍛冶川)
51	呉羽第1バイパス雨水幹線	□1,500×1,500	110.1	H23, H25	
52	呉羽第1増補雨水幹線	□1,300×1,500	147.1	H23	
53	下新川バイパス雨水幹線	□3,500×1,700~□1,400×700	678.9	H24~R1,R5,R6	14と同一排水区(下新第1)
54	畠等雨水幹線	□1,400×1,000~□1,400×1,000	30.8	H24	
55	新鍛冶川雨水幹線	□11,820/7,000×2,800	504.0	H20~H22	7,8,50,51,52と同一排水区(新鍛冶川)
56	磯部雨水幹線	φ1650~φ1500	400.8	H27~H28	合流式区域:35と同一排水区(松川第2)
57	常盤台雨水幹線	□1,900×800~□600×800	782.8	H27~H30	
58	本丸雨水幹線	φ1650, φ700	348.6	H28~H29	合流式区域:35,56と同一排水区(松川第2)
59	七軒町雨水幹線	φ1650	436.5	H29~H30	合流式区域:35,56と同一排水区(松川第2)
60	本郷第5 雨水幹線	φ1650	410.5	R5~R7	
小 計			46,005.6		

大沢野地域

番号	幹線名	断面 (m/m)	延長 (m)	施工年度	備考
1	大久保第1雨水幹線	凹4,200×2,200~□1200×1100	2,442.8	H2~H17, H27~H30	1,4,6は同一排水区 (大久保)
2	大沢野東第3雨水枝線	凹2,000×500	103.0	H 6	
3	大久保南第1雨水幹線	凹2,400×1,000	204.7	H11	
4	大久保第5雨水幹線	凹3,000×1,500	206.0	H12	1,4,6は同一排水区 (大久保)
5	大沢野南第1雨水幹線	凹2,500×1,200	394.5	H13	
6	大久保第3雨水幹線	□2,000×1,000、□1,000~2,000×1,000	378.4	H17~H18	1,4,6は同一排水区 (大久保)
7	大沢野東第4雨水幹線	□2,500×1,200	89.0	H18	
8	大沢野東第1雨水幹線	凹1,400×1,700~□4,000×2,500	2,032.5	H21~H26, R2~R5	
	小 計		5,850.9		

大山地域

番号	幹線名	断面 (m/m)	延長 (m)	施工年度	備考
1	黒牧東幹線	○1,100、凹1,200、凹1,300×1,200	550.0	S63	
2	黒牧西幹線	○1,100、○1,200、□1,400×1,200	710.0	S63~H 1	
	小 計		1,260.0		

八尾地域

番号	幹線名	断面 (m/m)	延長 (m)	施工年度	備考
1	井田第1雨水幹線	□1,500×1,500外	908.7	S63~H 6	
2	福島第1雨水幹線	□1,800×1,200外	637.0	S59~S62	
3	上野2号雨水幹線	2,550~1,600×1,000	1,447.2	S60~H 1	
4	保内第1雨水幹線	○1,100~2,000	481.7	S57~S61	
5	保内第2雨水幹線	□2,400×2,400	864.2	S60~H 1	
6	保内第3雨水幹線	□2,100×2,100	764.5	H 5~H 7	
7	福島第2雨水幹線	□1000×1300~600×600	609.0	H21, H26, H28~H29	
	小 計		5,712.3		

婦中地域

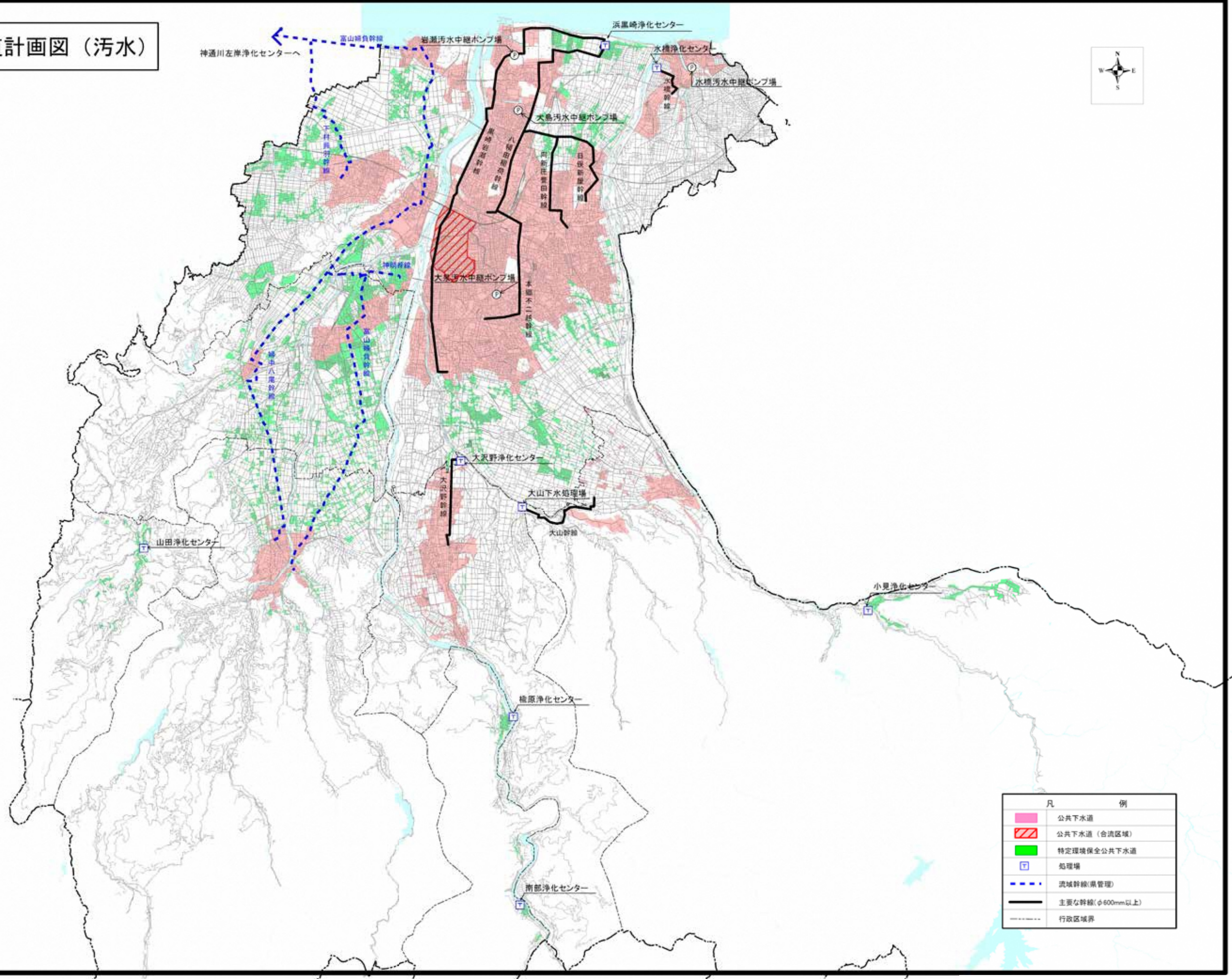
番号	幹線名	断面 (m/m)	延長 (m)	施工年度	備考
1	笹倉幹線	凹3,200×2,200×1,400~□1,100×900	2,140.0	S48~S52	平成15年度認可より公共へ移行
2	速星幹線	φ1,650~□1,000×1,100	1,290.0	S47~S63	平成15年度認可より公共へ移行
3	御門幹線	□1,500×1,250~凹1,500×1,250×550	2,510.0	S52~S57	平成15年度認可より公共へ移行
	小 計		5,940.0		

(断面 (m/m)の凹は開水路)

合 計	雨水幹線整備延長 (m)	雨水整備済面積 (ha) ※	整備率 (%)	雨水対策整備 対象区域面積 (ha)
	64,768.8	6,116.38	79.82%	7,662.87

※雨水整備済面積：雨水対策整備対象区域（公共下水道（雨水）の浸水対策を実施すべき区域）のうち、5年に1回程度の大雨に対応する下水道整備が完了した区域などの面積（浸水履歴の無い区域や既存水路の能力が確保されている区域を含む）

富山市下水道計画図（污水）



4 汚水処理施設稼動状況

	汚水流入量 (千m ³ /年)	発生汚泥量 (t/年)	処分状況 (t/年)		流入水質(mg/ℓ)		放流水質(mg/ℓ)	
					BOD	SS	BOD	SS
浜黒崎浄化センター	40,232.70	10,609.56	民間で固形燃料化 8,913.09	民間で焼却 1,696.47	110.0	94.0	6.2	4.7
水橋浄化センター	1,354.99	862.64	民間でコンポスト化 862.64		120.0	97.0	2.3	1.4
大沢野浄化センター	1,894.87	1,028.87	民間でコンポスト化 1,028.87		212.0	214.0	11.7	6.0
大山下水処理場	1,159.58	343.80	民間でコンポスト化 343.80		176.0	207.0	3.9	1.0
小見浄化センター	75.79	198.10	大山下水処理場へ 252.00		86.0	99.0	1.0	1.0
山田浄化センター	147.39	33.31	民間でコンポスト化 33.31		87.0	96.7	1.3	3.4
楡原浄化センター	56.95	31.52	民間でコンポスト化 31.52		115.0	80.0	1.5	2.5
南部地区浄化センター	26.26	14.57	民間でコンポスト化 14.57		78.0	29.0	2.1	3.0

5 水洗便所改造資金貸付状況

貸付限度額 1,000,000円/戸
 利率 無利子
 償還月数 60月以内（貸付月の翌月から）
 償還月額 16,667円（貸付金1,000,000円を60月で元金均等償還した場合）

（単位：千円）

年 度 貸付金額	令和7年度	令和6年度	令和5年度
200,000円			
250,000円	1件 250		
300,000円			
350,000円			
400,000円			
450,000円			
500,000円			
550,000円			
600,000円			
650,000円			
700,000円	1件 700		
750,000円			
800,000円			1件 800
850,000円			
900,000円			
950,000円			
1,000,000円		1件 1,000	3件 3,000
貸付件数	2件	1件	4件
貸付金額	950	1,000	3,800

Ⅲ 料金制度

1 下水道使用料

【H20.4.1改定】

(税込み)

種別	基本使用料		従量使用料	
	基本排除 汚水量	金額(円)	排除汚水量	単価(円) (1m ³ につき)
一般 汚水	(なし)	660	10m ³ までの分	66
			10m ³ を超え 20m ³ までの分	176
			20m ³ を超え 30m ³ までの分	187
			30m ³ を超え 50m ³ までの分	242
			50m ³ を超え 100m ³ までの分	330
			100m ³ を超え 500m ³ までの分	352
			500m ³ を超え 1000m ³ までの分	374
			1000m ³ を超える分	379.5
公衆浴 場汚水	100m ³ まで	2,101	100m ³ を超える分	20.9

【参考】 使用料改定の推移

(平成16年度までは、旧富山市の場合)

時 期	平均改定率
平成 2年 4月 1日	28.2%
平成 5年 4月 1日	39.7%
平成 8年 4月 1日	36.2%
平成12年 4月 1日	15.2%
平成16年 4月 1日	27.4%
平成20年 4月 1日	2.8%

- ※平成元年 4月 1日 消費税の導入 (3%) に伴う使用料改定
- ※平成 9年 4月 1日 消費税率変更 (3% → 5%) に伴う使用料改定
- ※平成26年 4月 1日 消費税率変更 (5% → 8%) に伴う使用料改定
- ※令和元年10月 1日 消費税率変更 (8% → 10%) に伴う使用料改定

2 下水道受益者負担金

地域名	負担区	単位負担金額	備考
富山	富山第1負担区	94円/㎡	松川・いたち川第2～第4処理分区
	富山第2負担区	254円/㎡	いたち川第1・岩瀬処理分区、布瀬・奥田・豊田・掛尾処理分区の一部
	富山第3負担区	116円/㎡	浜黒崎処理分区
	富山第4負担区	419円/㎡	不二越・富居・奥田・豊田処理分区の一部
	富山第5負担区	415円/㎡	旧倉垣処理区
	富山第6負担区	440円/㎡	水橋第2・水落処理分区、水橋第1・向新庄・富居・布瀬・掛尾・本郷・不二越処理分区の一部
	富山第7負担区	460円/㎡	神通川左岸処理区
	富山第8負担区	460円/㎡	萩原・黒崎処理分区、向新庄・不二越・豊田・奥田・本郷・掛尾・水橋第1処理分区の一部
	富山第9負担区	490円/㎡	針原・太田・月岡・熊野処理分区
大沢野	大沢野負担区	200,000円/戸	

地域名	負担区	単位負担金額	
大山	大山負担区	一般住宅	3,500㎡未満 100,000円/戸
			3,500㎡以上 110,000円/戸
		事業所等	5,000㎡未満 130,000円/戸
			5,000㎡以上 150,000円/戸
	小見負担区	一般住宅	3,500㎡未満 200,000円/戸
			3,500㎡以上 220,000円/戸
		事業所等	260,000円/戸
			50人未満 260,000円/戸
		宿泊施設	100人未満 400,000円/戸
			100人以上 1,000,000円/戸
		総合観光施設	2,000,000円/戸
八尾	八尾負担区	一団の宅地等で汚水源のあるもの	1戸につき次に掲げる額の合計額とする (1) 平均割負担金 120,000円 (2) 1㎡につき 300円
		上記以外のもの	1㎡につき 300円
婦中	婦中負担区	一般住宅	350,000円/戸
			(後日加入) 450,000円/戸
		一般住宅以外 土地3,000㎡未満	450,000円/戸
			(後日加入) 550,000円/戸
		一般住宅以外 土地3,000㎡以上	(後日加入) 500,000円/戸 600,000円/戸
山田	山田負担区	住宅	250,000円/戸
			(後日加入) 300,000円/戸
		事業所	300,000円/戸
			50人未満 300,000円/戸
		宿泊施設	100人未満 500,000円/戸
			100人以上 800,000円/戸
		医療施設	500,000円/戸
細入	細入負担区	取付管内径 100mm	250,000円/戸
			(後日加入) 300,000円/戸
		取付管内径 150mm	500,000円/戸

・受益者負担金表は平成17年4月1日から施行

3 収納状況

1 納付方法状況

(1) 下水道使用料

＜令和7年度末＞(税込み)

口座振替		納付書払い		計	
件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
838,108	6,802,349,426	179,139	1,329,279,478	1,017,247	8,131,628,904
(82.39%)	(83.65%)	(17.61%)	(16.35%)	(100.00%)	(100.00%)

2 収納状況等(決算後)

(1) 下水道使用料

＜令和7年度末＞(税込み)

年度		調定額（円）	収入額（円）	未収入額（円）	件数	収納率（％）
現年度分	7	8,131,628,904	7,251,032,043	880,596,861	128,260	89.171
過年度分	6	8,071,096,748	8,064,639,028	6,457,720	1,033	99.920
	5	8,060,786,710	8,057,963,047	2,823,663	823	99.965
	4	8,110,290,033	8,107,095,984	3,194,049	588	99.961
	3	8,191,029,815	8,188,991,489	2,038,326	452	99.975
	2	8,253,741,528	8,253,239,974	501,554	244	99.994
	元以前	149,657,187,162	149,656,375,340	811,822	1,487	99.999
	計	190,344,131,996	190,328,304,862	15,827,134	4,627	99.992
合 計		198,475,760,900	197,579,336,905	896,423,995	132,887	99.548

(2) 受益者負担金

＜令和7年度末＞(不課税)

年度		調定額（円）	収入額（円）	未収入額（円）	件数	収納率（％）
現年度分	7	80,571,810	80,331,220	240,590	15	99.701
過年度分	6 ※	87,185,490	86,982,060	203,430	9	99.767
	5	116,105,870	115,190,990	914,880	28	99.212
	4	104,733,710	104,277,440	456,270	31	99.564
	3	123,264,490	121,985,682	1,278,808	46	98.963
	2	116,149,710	113,445,090	2,704,620	93	97.671
	元以前	7,577,306,543	7,533,009,115	44,297,428	1,811	99.415
	計	8,124,745,813	8,074,890,377	49,855,436	2,018	99.386
合 計		8,205,317,623	8,155,221,597	50,096,026	2,033	99.389

※「令和6年度 上下水道事業年報」の各数値を修正

IV 財政統計

1 損益計算書

科 目	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)
営業収益	10,717,110,052	71.9	10,900,734,952	73.1	11,086,176,638	73.1
(1) 下水道収益	7,392,393,802	49.7	7,355,397,725	49.3	7,352,134,551	48.5
(2) 一般会計負担金	3,002,706,000	20.1	3,224,673,000	21.6	3,404,602,000	22.4
(3) 受託事業収益	228,971,820	1.5	224,622,729	1.5	224,308,184	1.5
(4) その他営業収益	93,038,430	0.6	96,041,498	0.7	105,131,903	0.7
営業外収益	4,038,253,997	27.1	4,001,695,511	26.8	4,084,054,522	26.9
(1) 受取利息	5,173,970	0.0	987,942	0.0	0	0.0
(2) 一般会計負担金	574,747,000	3.9	616,873,000	4.2	667,963,000	4.4
(3) 一般会計補助金	39,492,000	0.3	46,694,000	0.3	47,301,000	0.3
(4) 国庫補助金	27,774,850	0.2	2,000,000	0.0	0	0.0
(5) 長期前受金戻入	3,368,443,702	22.5	3,330,326,638	22.3	3,360,171,044	22.1
(6) 雑収益	22,622,475	0.2	4,813,931	0.0	8,619,478	0.1
特別利益	151,918,357	1.0	8,137,942	0.1	951,174	0.0
(1) 長期前受金戻入	318,576	0.0	0	0.0	0	0.0
(2) 過年度損益修正益	151,599,781	1.0	7,835,532	0.1	0	0.0
(3) その他特別利益	0	0.0	302,410	0.0	951,174	0.0
下水道事業収益	14,907,282,406	100.0	14,910,568,405	100.0	15,171,182,334	100.0
営業費用	12,727,539,241	88.2	12,477,502,846	91.0	12,281,486,719	89.9
(1) 管渠費	231,753,990	1.6	177,412,982	1.3	173,336,084	1.3
(2) ポンプ場費	351,006,403	2.4	358,970,177	2.6	303,808,761	2.2
(3) 浜黒崎浄化センター費	1,354,540,087	9.4	1,308,333,353	9.5	1,230,518,311	9.0
(4) 水橋浄化センター費	147,107,087	1.0	157,510,776	1.1	137,988,366	1.0
(5) 大沢野浄化センター費	126,516,881	0.9	156,092,866	1.1	113,699,275	0.8
(6) 大山処理場費	58,491,664	0.4	58,059,884	0.4	50,782,359	0.4
(7) 小見浄化センター費	11,758,024	0.1	10,201,849	0.1	10,871,051	0.1
(8) 山田浄化センター費	38,354,982	0.3	39,278,145	0.3	24,127,792	0.2
(9) 楡原浄化センター費	25,404,807	0.2	9,915,301	0.1	10,616,766	0.1
(10) 南部地区浄化センター費	16,071,447	0.1	8,047,871	0.1	6,465,439	0.0
(11) 流域下水道管理費負担金	773,286,626	5.4	740,390,848	5.4	728,982,296	5.3
(12) 水洗化促進費	19,484,244	0.1	21,278,415	0.2	24,330,521	0.2
(13) 排水設備指導費	39,845,321	0.3	35,591,856	0.3	33,626,047	0.2
(14) 業務費	275,378,284	1.9	263,718,528	1.9	252,288,785	1.8
(15) 総係費	232,714,193	1.6	201,923,576	1.5	175,095,320	1.3
(16) 減価償却費	8,543,584,898	59.1	8,592,034,066	62.6	8,643,141,951	63.3
(17) 資産減耗費	260,162,448	1.8	118,575,804	0.9	145,924,269	1.1
(18) 地域し尿処理施設費	9,568,263	0.1	9,440,198	0.1	8,799,754	0.1
(19) 農業集落排水事業費	210,045,722	1.5	208,406,329	1.5	204,929,918	1.5
(20) 林業集落排水事業費	1,481,865	0.0	1,416,702	0.0	1,248,534	0.0
(21) 富山八尾中核工業団地排水施設管理費	982,005	0.0	903,320	0.0	905,120	0.0
営業外費用	1,106,838,654	7.7	1,209,537,343	8.8	1,347,431,622	9.9
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	1,070,731,069	7.4	1,174,645,178	8.6	1,312,266,225	9.6
(2) 雑支出	36,107,585	0.3	34,892,165	0.2	35,165,397	0.3
特別損失	586,101,722	4.1	32,061,533	0.2	31,523,656	0.2
(1) 固定資産売却損	0	0.0	0	0.0	2,946	0.0
(2) 減損損失	480,770	0.0	0	0.0	0	0.0
(3) 過年度損益修正損	585,620,952	4.1	32,061,533	0.2	31,520,710	0.2
下水道事業費用	14,420,479,617	100.0	13,719,101,722	100.0	13,660,441,997	100.0
当年度純利益	486,802,789	—	1,191,466,683	—	1,510,740,337	—

2 貸借対照表

科 目	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)
固定資産	219,895,803,006	97.6	224,769,975,133	97.8	229,175,376,477	97.6
(1)有形固定資産	215,016,064,924	95.4	219,676,102,973	95.6	223,857,433,587	95.3
イ 土地	1,559,068,970	0.7	1,559,068,970	0.7	1,558,981,445	0.7
ロ 建物	7,007,517,219	3.1	7,145,702,254	3.2	7,425,963,666	3.1
ハ 構築物	187,319,941,182	83.1	193,162,936,899	84.0	198,212,066,750	84.4
ニ 機械及び装置	12,534,521,453	5.6	11,579,005,645	5.0	12,204,489,027	5.2
ホ 車両運搬具	2,025,491	0.0	2,471,198	0.0	3,352,717	0.0
ヘ 工具器具及び備品	24,034,918	0.0	23,019,526	0.0	19,293,248	0.0
ト 建設仮勘定	6,568,955,691	2.9	6,203,898,481	2.7	4,433,286,734	1.9
(2)無形固定資産	4,852,662,006	2.2	5,065,626,089	2.2	5,287,920,150	2.3
イ 電話加入権	15,449,500	0.0	15,449,500	0.0	15,449,500	0.0
ロ 施設利用権	4,837,212,506	2.2	5,050,176,589	2.2	5,272,470,650	2.3
(3)投資その他の資産	27,076,076	0.0	28,246,071	0.0	30,022,740	0.0
イ 出資金	22,607,000	0.0	22,607,000	0.0	22,607,000	0.0
ロ 長期貸付金	4,469,076	0.0	5,639,071	0.0	7,415,740	0.0
流動資産	5,372,546,125	2.4	5,051,354,214	2.2	5,698,893,810	2.4
(1)現金預金	3,875,270,799	1.8	3,359,941,670	1.5	4,194,577,292	1.8
(2)未収金	939,463,114	0.4	971,802,544	0.4	928,077,638	0.4
(3)貯蔵品	1,612,212	0.0	0	0.0	0	0.0
(4)前払金	556,200,000	0.2	719,610,000	0.3	576,238,880	0.2
資産合計	225,268,349,131	100.0	229,821,329,347	100.0	234,874,270,287	100.0
固定負債	64,512,242,088	28.6	70,189,790,727	30.6	75,496,805,996	32.1
(1)企業債	64,210,248,005	28.5	69,894,029,180	30.5	75,244,573,969	32.0
(2)引当金	301,994,083	0.1	295,761,547	0.1	252,232,027	0.1
イ 退職給付引当金	295,248,007	0.1	275,215,471	0.1	231,685,951	0.1
ロ 修繕引当金	6,746,076	0.0	20,546,076	0.0	20,546,076	0.0
流動負債	10,063,665,137	4.5	9,495,100,296	4.1	10,562,421,903	4.5
(1)企業債	7,692,181,175	3.5	7,563,120,944	3.3	8,023,908,515	3.5
(2)未払金	2,257,529,830	1.0	1,829,820,123	0.8	2,379,010,870	1.0
(3)未払費用	12,012,561	0.0	9,888,824	0.0	78,867,002	0.0
(4)引当金	61,050,982	0.0	54,540,256	0.0	51,877,000	0.0
(5)その他流動負債	40,890,589	0.0	37,730,149	0.0	28,758,516	0.0
繰延収益	82,501,578,184	36.6	84,146,604,391	36.6	85,737,291,663	36.5
(1)長期前受金	82,501,578,184	36.6	84,146,604,391	36.6	85,737,291,663	36.5
イ 受贈財産評価額	4,785,410,988	2.1	4,788,328,667	2.1	4,567,483,343	1.9
ロ 国庫補助金	63,906,398,207	28.3	65,155,744,575	28.3	66,637,241,626	28.4
ハ 県補助金	20,736,476	0.0	22,011,183	0.0	23,258,208	0.0
ニ 他会計補助金	131,636,243	0.1	135,066,490	0.1	138,496,736	0.1
ホ 工事負担金	1,555,884,915	0.7	1,586,667,155	0.7	1,582,256,183	0.7
ヘ 受益者負担金	12,101,511,355	5.4	12,458,786,321	5.4	12,788,555,567	5.4
負債合計	157,077,485,409	69.7	163,831,495,414	71.3	171,796,519,562	73.1
資本金	67,048,243,274	29.8	64,142,549,591	27.9	60,911,280,254	26.0
(1)資本金	67,048,243,274	29.8	64,142,549,591	27.9	60,911,280,254	26.0
剰余金	1,142,620,448	0.5	1,847,284,342	0.8	2,166,470,471	0.9
(1)資本剰余金	255,817,659	0.1	255,817,659	0.1	255,730,134	0.1
イ 受贈財産評価額	37,266,542	0.0	37,266,542	0.0	37,179,017	0.0
ロ 国庫補助金	218,551,117	0.1	218,551,117	0.1	218,551,117	0.1
(2)利益剰余金	886,802,789	0.4	1,591,466,683	0.7	1,910,740,337	0.8
イ 利益積立金	400,000,000	0.2	400,000,000	0.2	400,000,000	0.2
ロ 当年度未処分利益剰余金	486,802,789	0.2	1,191,466,683	0.5	1,510,740,337	0.6
資本合計	68,190,863,722	30.3	65,989,833,933	28.7	63,077,750,725	26.9
負債・資本合計	225,268,349,131	100.0	229,821,329,347	100.0	234,874,270,287	100.0

3 費用構成表

年 度 項 目 科 目		令和 7 年度			令和 6 年度			令和 5 年度		
		金 額 (千円)	構成比 (%)	1 m ³ 当り 単 価 (円)	金 額 (千円)	構成比 (%)	1 m ³ 当り 単 価 (円)	金 額 (千円)	構成比 (%)	1 m ³ 当り 単 価 (円)
職員給与費	基 本 給	230,442	1.69	5.65	211,173	1.58	5.19	201,087	1.50	4.91
	手 当	123,889	0.91	3.04	110,697	0.82	2.72	105,638	0.79	2.58
	退職給付費	44,118	0.32	1.08	43,530	0.32	1.07	48,586	0.36	1.19
	法定福利費	70,511	0.52	1.73	61,146	0.45	1.50	59,252	0.44	1.45
	計	468,960	3.44	11.50	426,546	3.17	10.48	414,563	3.09	10.13
支 払 利 息		1,070,731	7.87	26.25	1,174,645	8.72	28.87	1,312,266	9.78	32.07
減 価 償 却 費		8,543,585	62.76	209.42	8,592,034	63.80	211.19	8,643,142	64.44	211.22
動 力 費		428,256	3.15	10.50	417,876	3.10	10.27	398,857	2.97	9.75
修 繕 費		457,393	3.36	11.21	440,563	3.27	10.83	348,700	2.60	8.52
材 料 費		23,225	0.17	0.57	20,397	0.15	0.50	16,969	0.13	0.41
薬 品 費		108,698	0.80	2.66	100,427	0.75	2.47	96,359	0.72	2.35
そ の 他		2,511,452	18.45	61.56	2,294,385	17.04	56.39	2,182,179	16.27	53.33
合 計		13,612,300	100.00	333.67	13,466,873	100.00	331.00	13,413,035	100.00	327.78
長期前受金戻入		△ 3,368,444	—	△ 82.57	△ 3,330,327	—	△ 81.86	△ 3,360,171	—	△ 82.11
処 理 原 価		10,243,856	—	251.10	10,136,547	—	249.14	10,052,864	—	245.67
下 水 道 収 益		7,392,394	—	181.20	7,355,398	—	180.79	7,352,135	—	179.67
有 収 水 量		40,795,984m ³			40,685,630m ³			40,920,987m ³		

※地域し尿処理施設、農業集落排水施設、林業集落排水施設及び富山八尾中核工業団地排水施設に係る受託事業費用並びに都市下水路に係る費用を除く。

※処理原価は、雨水分を含む。

4 使用料単価及び汚水処理原価

年 度		令和7年度	令和6年度	令和5年度
区 分				
使用料収入 A	(円)	7,392,393,802	7,355,397,725	7,352,134,551
年間有収水量 B	(m ³)	40,795,984	40,685,630	40,920,987
使用料単価 (1m ³ 当り) A/B	(円)	181.20	180.79	179.67
汚水に係る維持管理費 C	(円)	3,466,479,410	3,279,479,686	3,100,700,298
汚水に係る資本費 D	(円)	5,059,333,426	5,008,127,416	5,132,142,082
汚水処理費 E = C + D	(円)	8,525,812,836	8,287,607,102	8,232,842,380
汚水処理原価 (1m ³ 当り) E/B	(円)	208.99	203.70	201.19
	維持管理費 C/B	(円)	84.97	80.61
	資本費 D/B	(円)	124.02	125.42

5 企業債の状況

<令和7年度末>

(単位：円)

種別	発行総額	未償還残高	
		元金	利息
財政融資資金	77,876,100,000	28,546,318,263	2,899,175,728
地方公共団体金融機構	62,605,100,000	34,119,459,482	4,928,283,686
(独)郵便貯金・簡易生命 保険管理機構	22,781,100,000	3,467,729,755	179,218,765
市中銀行等 ※	11,070,914,000	5,768,921,680	74,009,670
計	174,333,214,000	71,902,429,180	8,080,687,849

※ 資本費平準化債を含む。

最高利率

3.40%

平成8年度

財政融資資金

最低利率

0.05%

令和元年度

北陸銀行・北國銀行

6 経営分析

(1) 経営比率

分 析 項 目		算 定 方 法	令和7年度	令和6年度	令和5年度	説 明
資 産 ・ 資 本 構 成 比 率	固 定 資 産 構 成 比 率 (%)	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{総 資 産}} \times 100$	97.62	97.80	97.57	総資産の固定化の度合を表す。 比率は一般的に高いが、低いほど良い。
	有 形 固 定 資 産 減 価 償 却 率 (%)	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$	47.85	46.29	44.74	資産の減価償却の割合を表す。 比率は30%位が適当。
	固 定 負 債 構 成 比 率 (%)	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本（総資産）}} \times 100$	28.64	30.54	32.14	固定負債と総資本との割合を表す。 比率は低いほど良い。
	自 己 資 本 構 成 比 率 (%)	$\frac{\text{資本金＋剰余金＋繰延収益}}{\text{総資本（総資産）}} \times 100$	66.89	65.33	63.36	総資本のなかに占める自己資本の割合。 比率は高いほど良い。
	固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率 (%)	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{資本金＋剰余金＋固定負債＋繰延収益}} \times 100$	102.18	102.02	102.17	長期適合率。 比率は100%以下が適当。
	固 定 比 率 (%)	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{資本金＋剰余金＋繰延収益}} \times 100$	145.92	149.71	154.00	資本の固定状態から資本的 弾力性をみる。 比率は100%以下が適当。
	流 動 比 率 (%)	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	53.39	53.20	53.95	企業の支払能力をみる。
率	酸 性 試 験 比 率 (当 座 比 率) (%)	$\frac{\text{現金預金＋未収金}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	47.84	45.62	48.50	流動資産のうち現金預金及び 現金化されるものにより支払 能力をみる。

分 析 項 目		算 定 方 法	令和7年度	令和6年度	令和5年度	説 明
回 転 率	自 己 資 本 回 転 率 (回)	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本})\times 1/2}$ ※自己資本＝資本金＋剰余金＋繰延収益	0.07	0.07	0.07	自己資本の利用度を表す。 回転は多いほど良い。
	固 定 資 産 回 転 率 (回)	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産})\times 1/2}$	0.05	0.05	0.05	固定資産の利用度を表す。 回転は多いほど良い。
	減 価 償 却 率 (%)	$\frac{\text{当 年 度 減 価 償 却 費}}{\text{有形固定資産} + \frac{\text{無形固定資産}}{\text{土地・建物仮勘定}} + \frac{\text{当年度減価償却費}}{\times 100}}$	3.88	3.81	3.73	減価償却費の割合をみる。
	流 動 資 産 回 転 率 (回)	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産})\times 1/2}$	2.06	2.03	2.08	流動資産の使用利用度を表す。
	未 収 金 回 転 率 (回)	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金}+\text{期末未収金})\times 1/2}$	11.20	11.45	11.82	未収金の回収の程度を表す。 数値が大きいほど、未収金の 回転速度が良好。
損 益 比 率	総 資 本 利 益 率 (%)	$\frac{\text{当年度経常利益}(\text{当年度経常損失})}{(\text{期首総資本}+\text{期末総資本})\times 1/2} \times 100$	0.40	0.52	0.65	総資本に対する経常利益の割合 を表す。
	総 収 支 比 率 (%)	$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}} \times 100$	103.38	108.68	111.06	収益と費用の相対的な関連性を表す。 比率は 100%以上は益。 // 100%以下は損。 // 大きいほど良い。
	経 常 収 支 比 率 (%)	$\frac{\text{営業収益}+\text{営業外収益}}{\text{営業費用}+\text{営業外費用}} \times 100$	106.66	108.88	111.31	経常的な収支を表す。 比率は100%以上大きいほど良い。
	営 業 収 支 比 率 (%)	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$	84.20	87.36	90.27	業務活動能力を表す。 比率は100%以上大きいほど良い。
	利 子 負 担 率 (%)	$\frac{\text{支払利息及び企業債取扱諸費}}{\text{一時借入金}+\text{企業債}} \times 100$	1.49	1.52	1.58	支払利息の割合をみる。 比率は小さいほど良い。
	企 業 債 償 還 元 金 対 減 価 償 却 費 比 率 (%)	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}-\text{長期前受金戻入}} \times 100$	146.14	152.50	159.50	企業債元金とその補てん財源である減価償却費に占める割合を表す。 比率は小さいほど良い。
	企 業 債 償 還 元 金 対 使用料収入比率 (%)	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{使用料収入}} \times 100$	102.31	109.09	114.61	比率は小さいほど良い。

(2) 業務比率

分 析 項 目	算 定 方 法	令和7年度	令和6年度	令和5年度	説 明
使 用 料 単 価 (1 m ³ 当 り 円)	$\frac{\text{使用料収入 (1 m3 当り円)}}{\text{年間総有収水量}}$	181.20	180.79	179.67	1 m ³ の汚水の使用料収入
汚 水 処 理 原 価 (1 m ³ 当 り 円)	$\frac{\text{汚水処理費 (汚水に係る維持管理費+資本費)}}{\text{年間総有収水量}}$	208.99	203.70	201.19	1 m ³ の汚水の処理費
汚 水 処 理 原 価 (維 持 管 理 費) (1 m ³ 当 り 円)	$\frac{\text{汚水処理費 (維持管理費)}}{\text{年間総有収水量}}$	84.97	80.61	75.77	1 m ³ の汚水の処理費 (維持管理費)
汚 水 処 理 原 価 (資 本 費) (1 m ³ 当 り 円)	$\frac{\text{汚水処理費 (資本費)}}{\text{年間総有収水量}}$	124.02	123.09	125.42	1 m ³ の汚水の処理費 (資本費)
経 費 回 収 率 (%)	$\frac{\text{使用料収入}}{\text{汚水処理費}} \times 100$	86.71	88.75	89.30	汚水処理費が使用料により どの程度回収されているか をみる。
経 費 回 収 率 (%)	$\frac{\text{使用料収入}}{\text{汚水処理費 (維持管理費)}} \times 100$	213.25	224.29	237.11	汚水処理費にかかる維持 管理費が使用料により どの程度回収されているか をみる。
処 理 人 口 一 人 当 り の 維 持 管 理 費 (円)	$\frac{\text{維持管理費}}{\text{現在処理区域内人口}}$	9,242	8,708	8,195	処理人口1人当りの 維持管理費
処 理 人 口 一 人 当 り の 資 本 費 (円)	$\frac{\text{資本費}}{\text{現在処理区域内人口}}$	26,327	26,249	26,696	処理人口1人当りの資本費
処 理 人 口 一 人 当 り の 営 業 収 益 (円)	$\frac{\text{営業収益}}{\text{現在処理区域内人口}}$	28,573	28,946	29,299	処理人口1人当りの営業収益
処 理 人 口 一 人 当 り の 維 持 管 理 費 (汚 水 分) (円 / 人)	$\frac{\text{維持管理費 (汚水分)}}{\text{現在処理区域内人口}}$	9,242	8,708	8,195	処理人口1人当りの汚水に 係る維持管理費
処 理 人 口 一 人 当 り の 資 本 費 (汚 水 分) (円 / 人)	$\frac{\text{資本費 (汚水分)}}{\text{現在処理区域内人口}}$	13,489	13,299	13,563	処理人口1人当りの汚水に 係る資本費
処 理 人 口 一 人 当 り の 管 理 運 営 費 (汚 水 分) (円 / 人)	$\frac{\text{管理運営費 (汚水分)}}{\text{現在処理区域内人口}}$	22,731	22,007	21,758	処理人口1人当りの汚水に 係る管理運営費
有 収 率 (%)	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総汚水処理水量}} \times 100$	79.99	78.61	78.70	処理場で処理された汚水の うち、料金として徴収され る水量の割合。 高いほど良い。